

2月定例議会

5大構想は市民の暮らしを豊かにするのか

新年度に向け、国言いなりから市民が主人公の市政へ転換を迫る

日本共産党市議会議員団は、田辺市長に対し、市民生活に重大な影響のある憲法改悪、消費税増税、原発推進、核兵器禁止条約など国政問題での政治姿勢を質します。地方自治体の役割は住民の福祉の増進です。市長の示す5大構想が市民の暮らしを豊かにするのか、地方壊しの国の悪政から市民の命とくらしを守る立場で、住民の暮らしを支える市政への転換を迫る論戦に挑みます。

◆◆◆
本議会に2019年度予算として、一般会計3,180億円、特別会計約2,295億円、企業会計約750億円、総額約6,225億円が提案されました。また補正予算として、一般会計約4億3千万円増、特別会計約7億6千万円増、企業会計約1億円減、総額約10億9千万円の増額が提案されています。

◆◆◆
2月定例市議会が2月8日(金)から3月20日(水)の日程で開催されています。

日本共産党 静岡市議会議員団 ニュース

2018 - No.11

日本共産党静岡市議会議員団
議員控室 TEL 054-254-2111
(内) 4541
FAX 054-272-4695
アドレス http://www.jcpss.jp/
メール yksf5@jcpss.jp

2月定例会会議日程

会期 2/8～3/20 (41日間)
会場 静岡庁舎本館
開会 午前10時より

本会議

- 代表質問 3/1(金)
- 3/4(月)
- 総括質問 3/5(火)
- 3/6(水)
- 本会議 (討論・採決) 3/20(水)※1

常任委員会

- 3/12(火)、3/13(水)
 - 厚生委員会
 - 観光文化経済委員会
 - 都市建設委員会
- 3/8(金)、3/11(月)
 - 総務委員会
 - 企業消防委員会
 - 市民環境教育委員会

※1 開会13時30分より

*本会議、常任委員会のすべてが傍聴できます。



2月議会での質問

3月1日・4日・5日・6日

傍聴にぜひお越しください。

代表質問 (3月4日予定)



杉本まもる議員

憲法9条改憲、消費税増税、原発再稼働など、国政における政治姿勢について
SDGs、5大構想など基本施策について
2019年度予算編成について
災害対策について
国民健康保険について
教育行政について
地域経済振興について
立地適正化計画と公共交通について
その他の主要施策についても質します

総括質問 (3月5日・6日予定)



内田りゅうすけ議員

清水庁舎移転計画について
生涯学習交流館について



鈴木せつ子議員

教育行政について
・正規の教職員増員について
・小中一貫教育について



寺尾 昭議員

上下水道事業経営のあり方について
幼児教育、保育無償化の問題点について



望月賢一郎議員

生涯学習施設の利用方法見直しについて
指定管理料の債務負担行為の設定について

※詳しい日時は、議員団事務局までお問い合わせ下さい。

市民の声を市政に届けて

辺野古新基地建設工事の中止を政府に求める意見書採択を求める請願

2月4日、静岡・沖縄を語る会(富田英司代表)が、1,575筆の署名を田形清信議長に提出しました。富田氏は、「選挙で示された県民の意思を無視するかのよう」に辺野古の新基地建設を進めるのは、地方自治法にも反している。今一度立ち止まって国と県がしっかり話し合ってほしい」と訴えました。この署名は日本共産党市議会も全員紹介議員となり、提出には望月賢一郎、杉本護両議員が同席しました。

清水庁舎等の移転中止を求める請願

2月5日、清水庁舎問題等・連絡会(神戸孝夫代表)が、7,116筆の署名を田形清信議長に提出しました。神戸氏は、「津波浸水想定区域に多額の資金を投入して庁舎を新築することには区民の理解は得られない。市民への説明も極めて不十分」と訴えました。日本共産党からは紹介議員となった望月賢一郎議員が同席しました。

